

## “「にぎやか荘」火災のなぞ” 使い方

### 1. 用意するもの

- ① カード グループに1セット（ヒントカード2枚、出火カード1枚を除く45枚）
- ② 出火カード 1枚
- ③ 遊び方 プリント2枚 グループに1セット
- ④ 見取り図 グループに1枚
- ⑤ にぎやか荘なぞ解き（正解） 各人（各グループでもよい）に1枚
- ⑥ （場合に応じて） ヒントカード グループに2枚  
※「もう一つのにぎやか荘」プリントを参照

### 2. 実施人数および時間、会場

- ① 実施人数  
1グループ5人から7人くらい。6人くらいが最適です。人数が少ないと問題解決までの時間が短くなり、人数が多くなると問題解決までの時間がかかります。  
グループ数は多くても実施可能です。
- ② 実施時間
  - 1) 説明 5分
  - 2) 問題解決 30分
  - 3) 解説とふりかえり 10分から30分
- ③ 会場  
5人から7人のグループで話し合いのできる机と椅子。グループ同士の話し合いの音がじゃまにならない程度に離れていることが望ましいです。

### 3. 実施の手順

- ① 1グループごとに、カード1セットずつと遊び方プリント、にぎやか荘の見取り図プリント、および出火カードを、それぞれ1枚ずつ配ります。
- ② 遊び方プリントを読み上げます。特に、「情報は口頭で伝えること（カードを見せ合わない、情報の書き出さない）」ことを、念を押してください。
- ③ カードは、それぞれのグループの中で、メンバーに、できるだけ均等な枚数になるよう配ってもらいます。配り方はトランプのカードの配り方と同じです。
- ④ カードが全員に行き渡ったことを確認したら、ゲームを始めてください。制限時間は30分です。

- ⑤ 30分より前に解決できたグループがあれば、正解かどうかを確認します。正解の場合は、他のグループが終了するまで待ってもらってください。
- ⑥ 時間がきたら、全部のグループが正解に達していなくても、終了とします。
- ⑦ どのグループも30分以内に正解できないような場合、5分から10分程度の延長をして頂いて構いません。
- ⑧ にぎやか荘なぞ解き（正解）プリントを各自に1枚（あるいはグループに1枚）ずつ配り、解説をします。

※解説では、ゲームを実施する地域の年間の火災件数や出火原因に関する資料、住宅防火に関する資料を用いて火災予防を呼びかけるのも一つの方法です。

**【実施のヒント：簡単バージョン】**

カードのうち、「緑」のカードは正解に関係のないカードです。時間がないとき、問題が難しすぎると思われるときには、この色のカードだけを抜いて使って頂くこともできます。